



Tell your appreciation to others ～中体連県大会での気づき～

日高附属中生の4名の努力の成果が報われ、夏の県大会2競技の会場を訪れました。まずは、卓球。女子個人出場の三原苺夏さんの試合が始まる前から応援席で他校生徒の試合をみていました。三原さん自身はもちろんですが、ほぼ全ての選手が相手の選手や審判をする選手達に向かって礼をし、挨拶をすることで試合が始まり、終了します。自らのプレーや勝敗で心が揺らぐ場合もきっとあるはずですが。

しかしながら、きちんと挨拶する姿、そして相手の先生（指導者）に挨拶するために駆け足で急ぐ選手達の姿勢を応援席から伺い、「礼儀作法もしっかりとできるからこそ、この県大会に出場できる実力もあるんだろうなあ」と内心感じていました。また、礼儀が正しく、卓球（運動）もできるなんて「カッコいい」と素直に思いました。



陸上競技の部では、走高跳出場の三村梨晏さん、砲丸投の稲田結耀さん、そして共通200mの玉置瞬史朗さんが紀三井寺競技場にて最後の県大会出場となりました。各々が競技に集中するなか、他競技も行われており、ふと感動したことがありました。それは、トラック競技種目が予定時刻に合わせて実施されたのですが、ゴール地点を過ぎ、落ち着いた後、選手達が（自分が使用した）レーンの方向に向き直りお辞儀をしていたのです。



これまでもこの動作をテレビ画面や競技場で見たことはあったのですが、今回はなぜか“礼儀の作法”に選手たち一人一人のstory（県大会に出場するまでの練習過程）が垣間見えたように感じて私の心が穏やかになり、素敵だなと素直に感じたのです。



どの競技であっても選手が前向きな気持ちで礼儀作法を重んじて行動に移している姿勢は、私たち全員が見習わなければいけないことです。

学校で友人やクラスメイト、先生たちに率先して挨拶をしていますか。何かあった際には、感謝の気持ちや謝罪を素直に言葉にできていますか。

学校環境や家庭環境を調整するのは、私たちと仲間、それに家族です。お互いに気持ちを言葉にのせて関係を深く築いていきましょう。

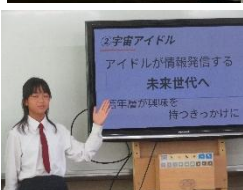
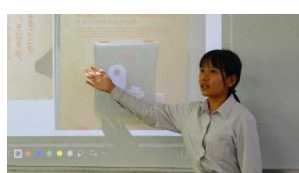
文化祭

9月11日（木）・12日（金）

全日制高校と中学校の文化祭が実施され、各学年においての催し物において賑わいをみせました。第1学年は展示と発表で、テーマは「18 私たちができる達成目標を考えよう」。8班がSDGsの観点で情報収集し、まとめて意見を持ち発表しました。

「未来を創る！職業探究プロジェクト」と題し2年生が理想の未来社会をつくる新しい職業の提案を9つの班ごとにしました。

16期生である第3学年は、防災学習のまとめとして”石巻レポート・そなエリア東京・紀伊半島大水害（紙芝居を含む）・南海トラフ地震・防災カード（ワークショップを含む）”に関する内容を各班が観客に伝えました。



インタビューでお世話になった方々が、発表を参観してくださいました。